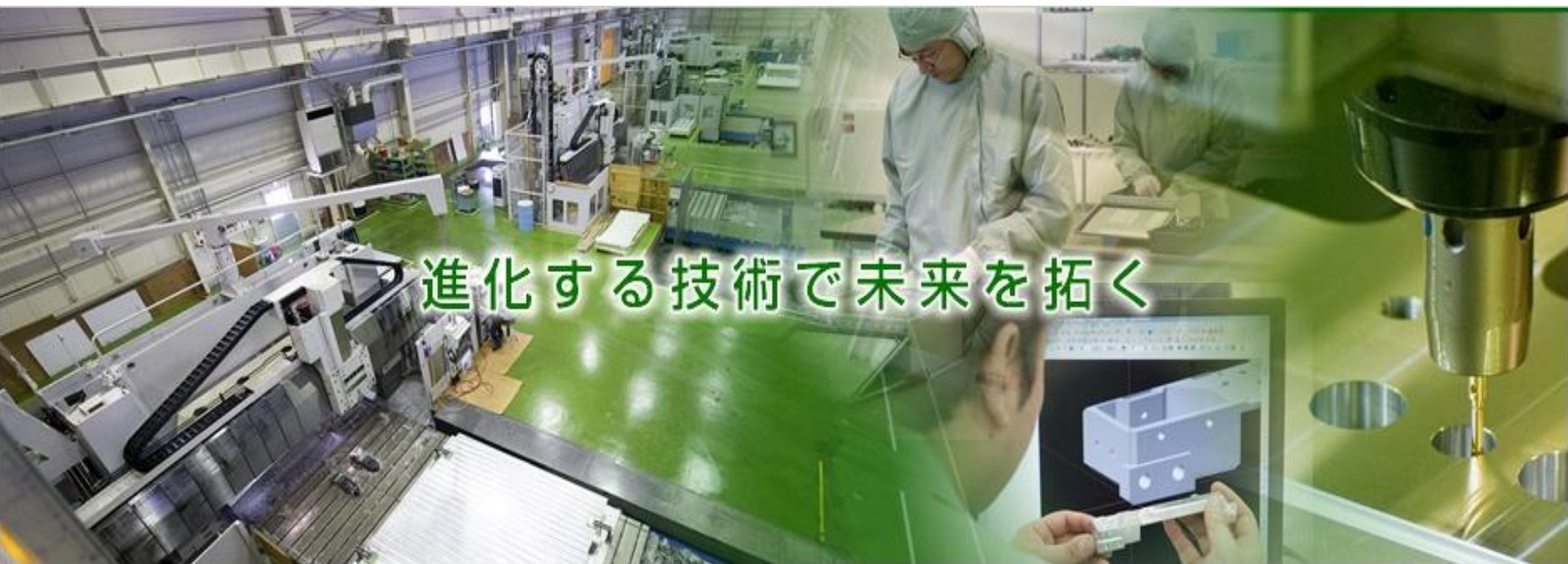




東証マザーズ(TSE Mothers):6264

株式会社マルマエ 平成25年8月期 決算説明会

平成25年10月25日
東京国際フォーラム G607会議室



進化する技術で未来を拓く

1.決算概要



P/L分析

P/L

	平成24年8月期		平成25年8月期		
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合(%)	対前年同期 増減率(%)
受注高	1,020	—	1,128	—	10.5
受注残高	126	—	101	—	▲19.3
売上高	1,103	100.0	1,162	100.0	5.4
売上原価	878	79.6	865	74.4	▲1.5
売上総利益	225	20.4	297	25.6	32.1
販売管理費	174	15.8	170	14.7	▲2.4
営業利益	50	4.6	126	10.9	151.6
経常利益	21	1.9	128	11.1	498.2
特別損益	▲80	▲7.3	▲43	▲3.7	—
当期純利益又は 当期純損失(▲)	▲62	▲5.7	81	7.0	—
EPS(円)	▲3,603.42	—	4,693.20	—	—
EBITDA	203	—	241	—	18.7

Point

①受注状況

- FPD分野:589百万円
(対前年同期:29.2%増)
- 半導体分野:513百万円
(対前年同期:6.7%増)
- その他分野:24百万円
(対前年同期:70.1%減)

②売上高

- ・対前年同期5.4%の増加 ※分野別詳細は次頁

③売上原価・売上総利益

- ・材料費:40百万円増
(対前年同期:31.7%増)
- ・減価償却費:29百万円減
- ・外注加工費:16百万円減
(対前年同期:11.6%減)

④営業利益

- ・販管費は横ばい(対前年同期:2.4%減)

⑤営業外収益/費用

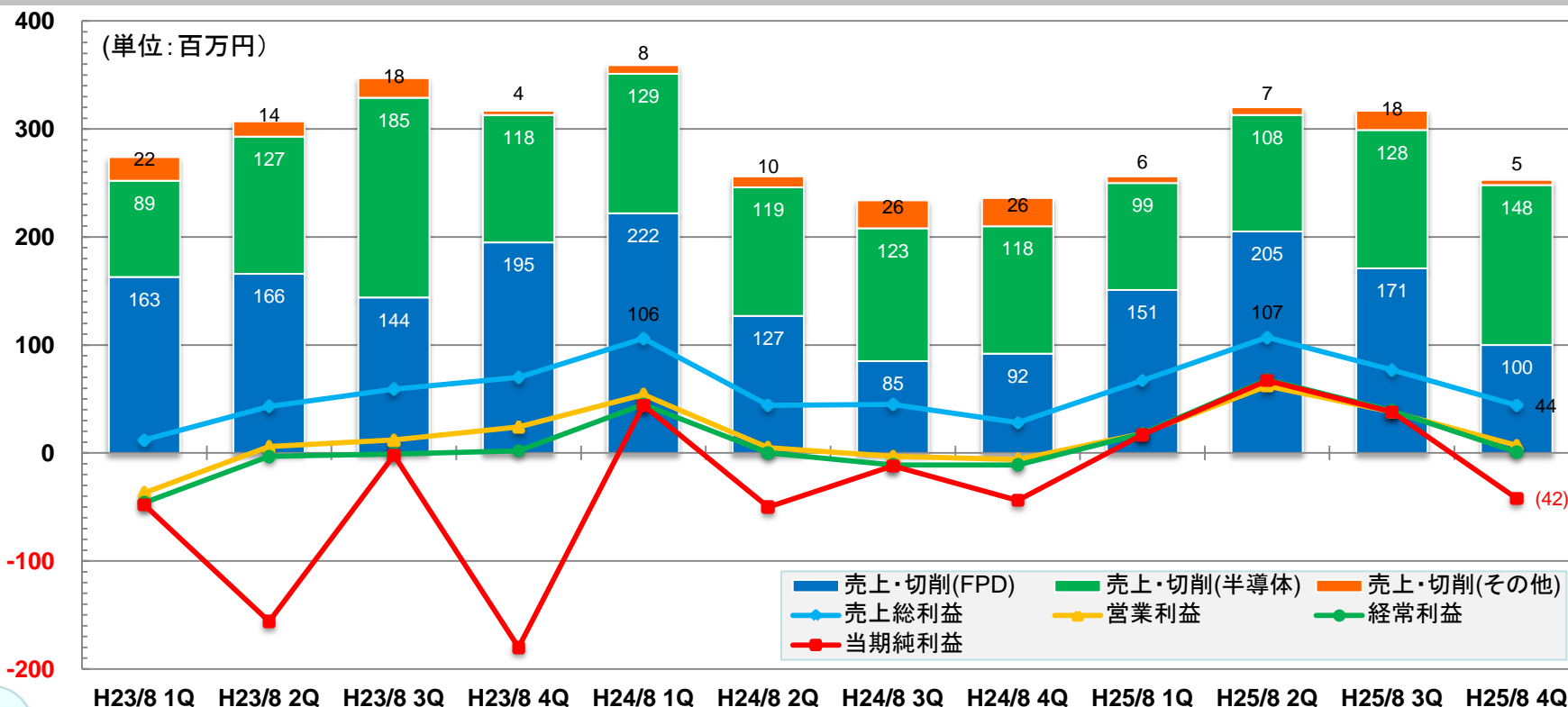
- ・為替差益:18百万円、支払利息:17百万円

⑥特別損益

- ・減損損失:43百万円

1.決算概要

四半期業績の推移



Point

①通期売上高は、FPD分野がけん引

- FPD分野:628百万円(対前年同期:19.0%増)
 - ・独自技術を生かし国内パネルメーカー向けの受注獲得
- 半導体分野:485百万円(対前年同期:1.1%減)
 - ・新規顧客の受注獲得と既存顧客の品種拡大
- その他分野:48百万円(対前年同期:42.3%減)

②損益面ではFPDの増加と生産性向上で順調

- ・半導体市場拡大に向けた生産体制の整備と強化
- ・固定費削減効果が通期寄与
- ・生産性改善により営業利益が向上
- ・特別損失の計上

1.決算概要

B/S分析

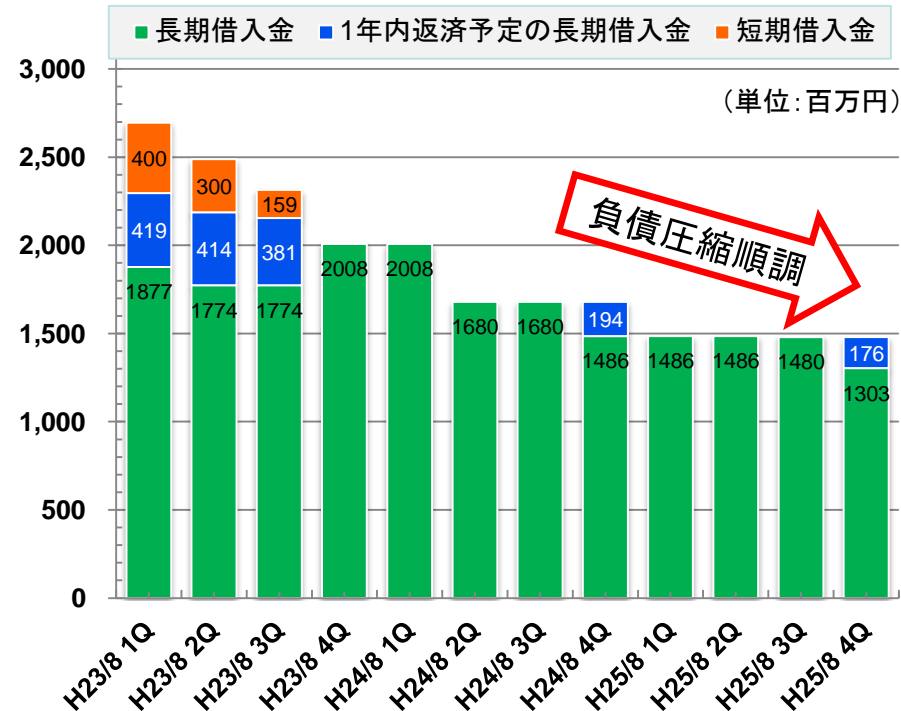
B/S

(単位:百万円)	平成24年8月期 会計年度末	平成25年8月期 会計年度末
流動資産	735	747
現金及び預金	384	326
受取手形・売掛金 電子記録債権	319	370
たな卸資産	20	40
固定資産	1,039	913
建物・土地	604	586
機械及び装置	305	230
流動負債	274	261
有利子負債(短期)※	194	176
固定負債	1,489	1,305
長期借入金	1,486	1,303
負債合計	1,764	1,566
純資産合計	11	93
総資産	1,775	1,660

※ 有利子負債(短期): 短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

Point

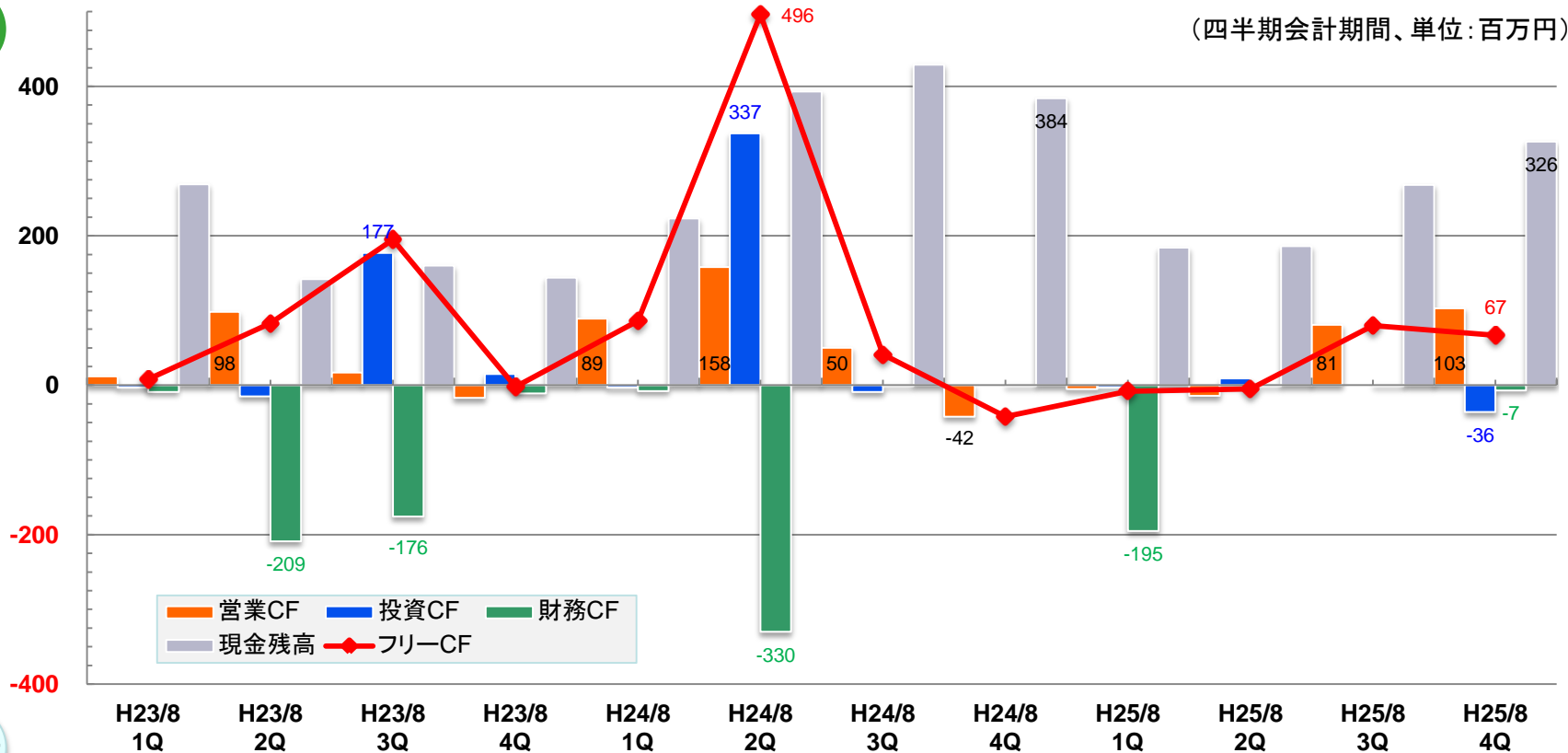
- ① 資産: 1,660百万円(前期末比: 115百万円減少)
 - ・受取手形及び売掛金等: 50百万円増加
 - ・現金及び預金: 57百万円減少
 - ・固定資産: 126百万円減少 他
- ② 負債: 1,566百万円(前期末比: 197百万円減少)
 - ・長期借入金: 182百万円減少
- ③ 純資産: 93百万円(前期末比: 81百万円増加)
 - ・自己資本比率 5.6%



1.決算概要

CF分析

CF



Point

① 営業活動によるCF(通期)：164百万円

- ・減価償却費による増加：114百万円
- ・税引前当期純利益による増加：85百万円
- ・売上債権の増加による減少：50百万円
- ・減損損失による増加：43百万円
- ・棚卸資産の増加による減少：19百万円

② 投資活動によるCF(通期)：▲30百万円

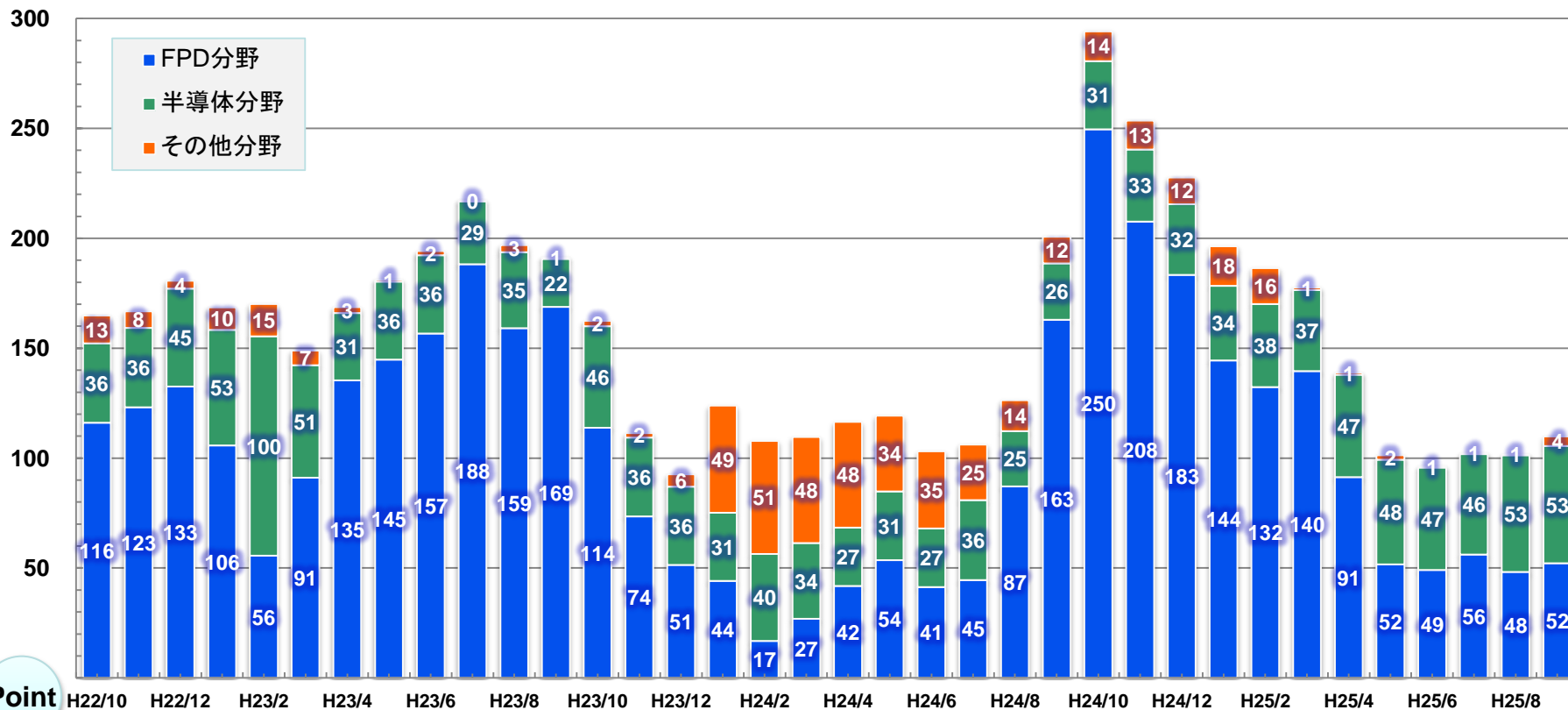
- ・有形固定資産の取得による支出：51百万円
- ・差入保証金の回収による収入：21百万円
- ・無形固定資産の取得による支出：6百万円

③ 財務活動によるCF(通期)：▲206百万円

- ・長期借入金の返済による支出：200百万円

月次受注残高の推移

(単位:百万円)



Point

- FPD分野は、受注に回復傾向が出始めており、年末にかけて更に増加見込み。
- 半導体分野は、受注品種と数量ともに増加傾向続く。
- その他分野は、幅広い分野へ積極的な営業活動を行い、一部成果が出始める。

※当社の受注は、案件ごとに長短さまざまなリードタイム(LT)があり、LTの長い案件が多いと売上高に比べ受注残が多めで、LTが短い案件が多いと売上高に比べ受注残は低めに表れます。(主に半導体はLTが短く、FPDはLTが長めです)

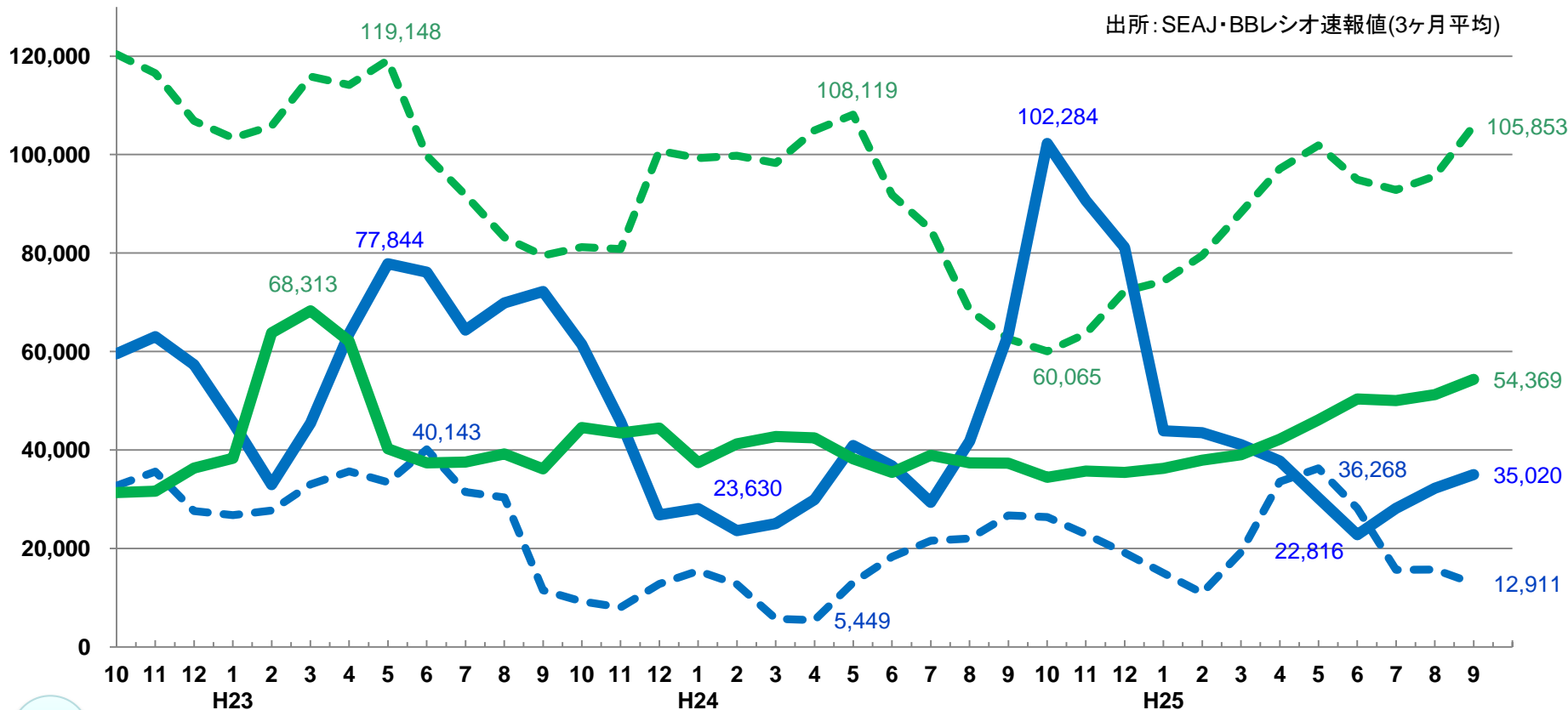
2.事業環境

市場とマルマエの受注動向比較(3ヶ月移動平均数値)

受注

— FPD製造装置(日本製) 受注額(百万円) - - - 半導体製造装置(日本製) 受注額(百万円)
— マルマエFPD分野(切削加工) 受注額(千円) — マルマエ半導体分野(切削加工) 受注額(千円)

出所: SEAJ・BBレシオ速報値(3ヶ月平均)



Point

- FPD分野では、足元、国内外でスマホ向け中小型パネル投資が一段落したあと、増強投資が出始める。
- 半導体分野は、世界的な景気回復の波動の中で製造装置受注は好調に推移し、当社受注も拡大傾向続く。

販売分野別の環境と営業方針のまとめ

FPD分野

- ◆ スマホ向け一段落も追加投資始動 後半はTV向けも計画
- ◆ 中国向案件得意顧客への営業強化
- ◆ 自社得意技術を中心に高付加価値品受注を狙う

半導体分野

- ◆ スマホ向け投資一辺倒から、幅広い製品向けに市場拡がる
- ◆ 一部設備投資も敢行した上、外注活用で生産力向上狙う
- ◆ 高難易度製品の受注を拡大し、利益率改善狙う

その他分野

- ◆ 景気改善に伴い全般的に引き合い好調
- ◆ 社内生産力の余力活用と、長期的見地からの新規分野獲得目指す
- ◆ 従来取組の太陽電池・鉄道・原子力等に加え、光学分野開拓

3.平成26年8月期の業績予想

今期の見通し(損益・設備投資・固定費要因)

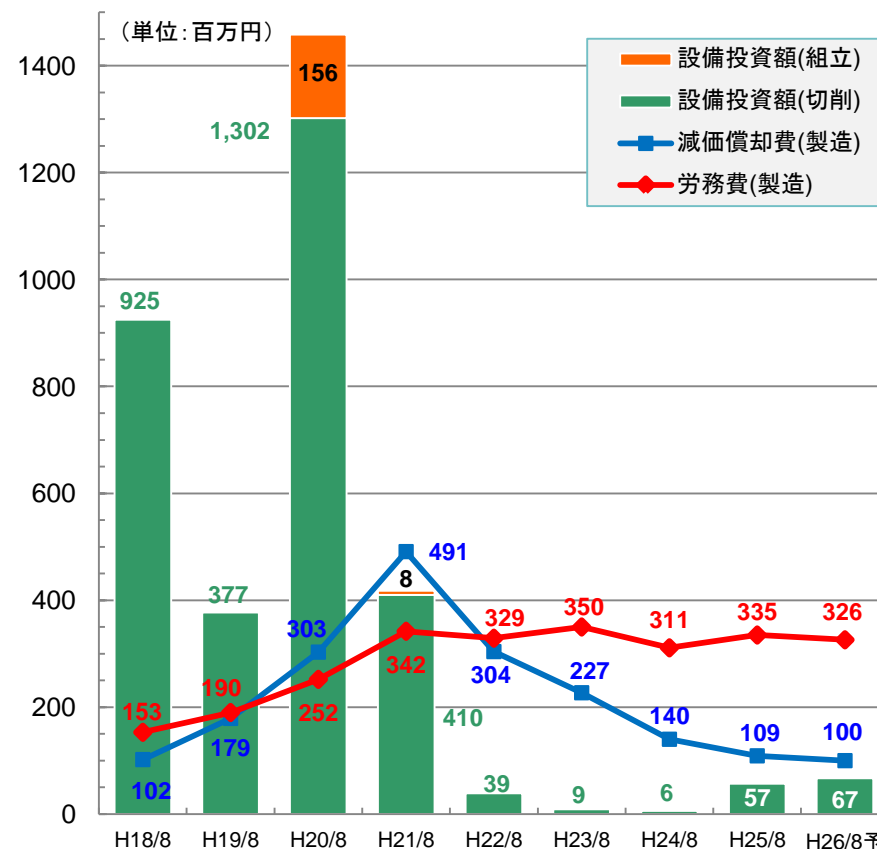
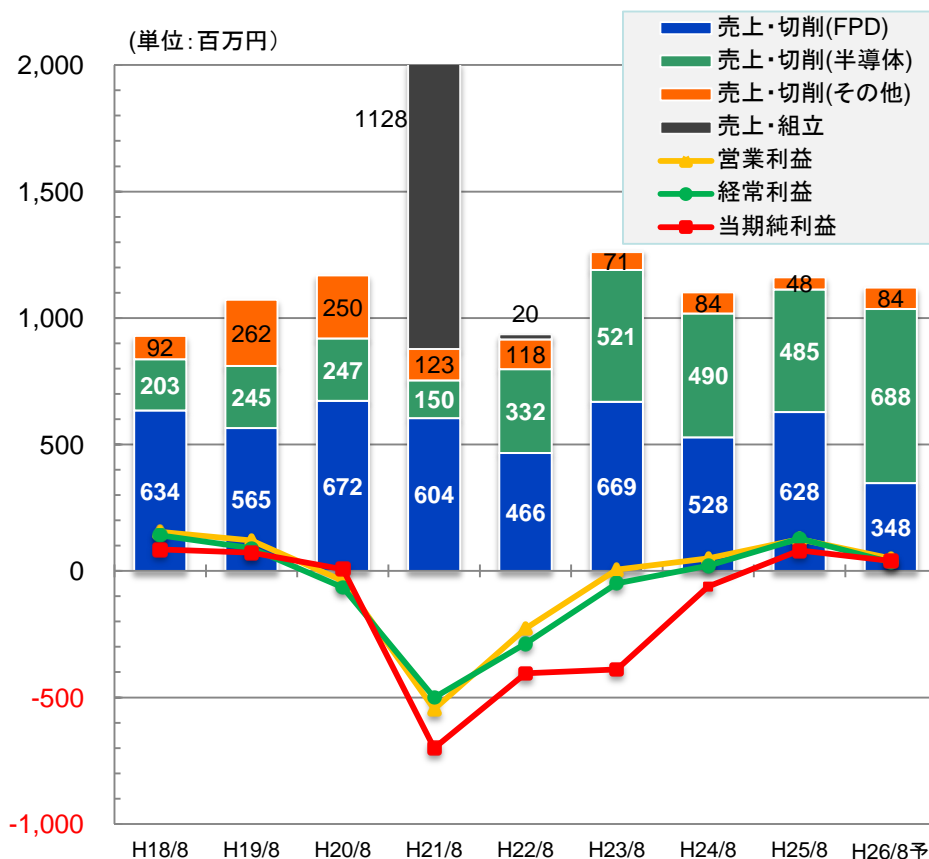
業績
予想

(単位:百万円、1株当たり当期純利益は円)

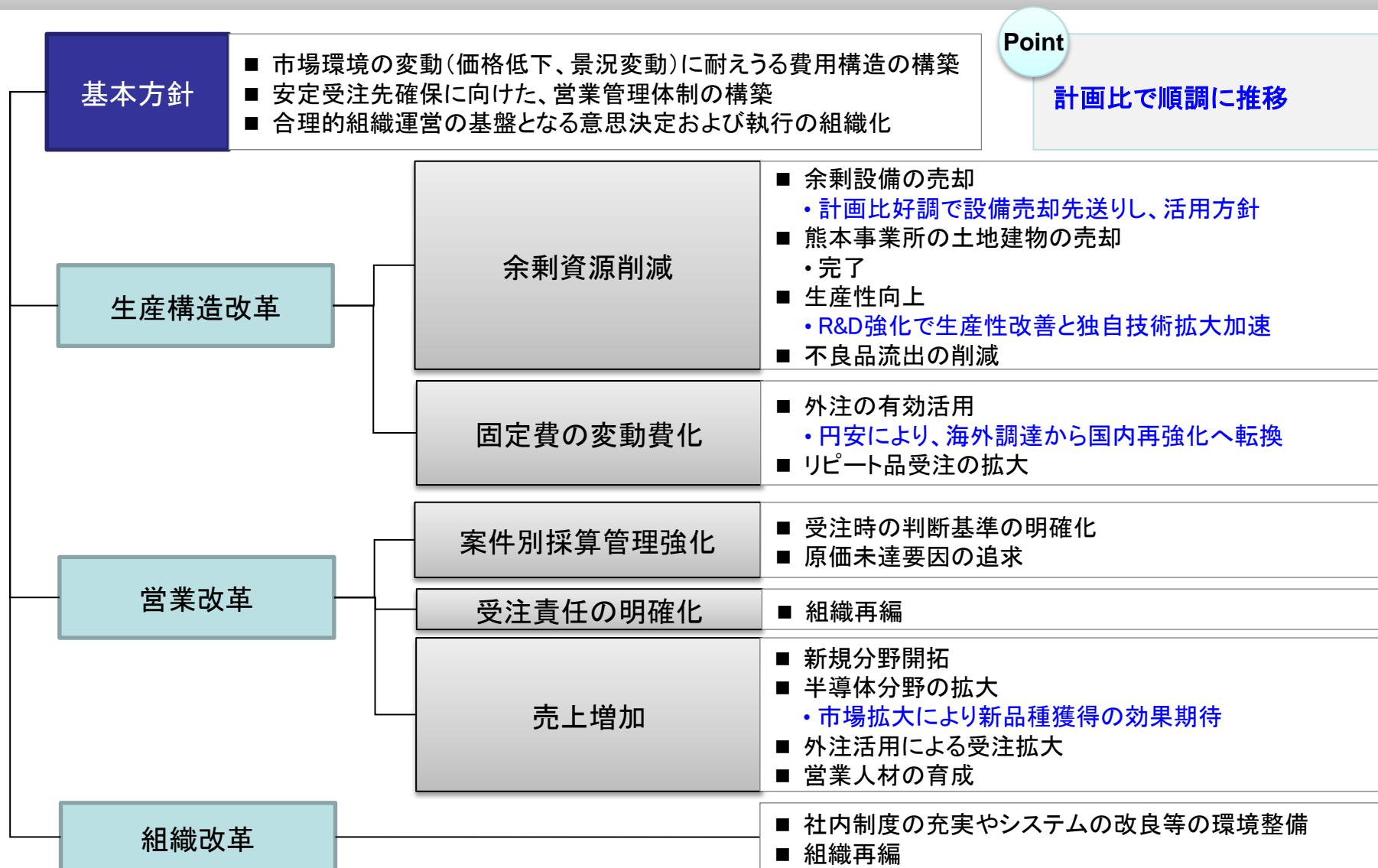
平成26年8月期 業績予想	売上高	営業 利益	経常 利益	純利益	1株当たり 純利益
第2四半期 累計期間	570	30	22	30	1,719.59
通期	1,120	50	35	40	2,292.79

Point

FPD分野は不透明で保守的見込み
半導体分野は市場好調で生産力上限へ
半導体分野強化に向けた新規設備投資



事業再生計画の進捗



本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、マルマエ経営陣の判断など不確定要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様にマルマエの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など投資判断を提供するものではありません。投資に関する責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問合せ先

株式会社マルマエ 管理部総務課 IR担当

ir@marumae.com

TEL 0996-64-2900 FAX 0996-64-2863



Company Profile

企業情報

進化する技術で未来を拓く

会社名	株式会社マルマエ (Marumae Co., Ltd)		大株主 (普通株式)	前田 俊一	9,277株
設立	昭和63年10月			株式会社マルマエ(自己株)	1,094株
資本金	1億3300万円 (平成25年8月31日現在)			前田 美佐子	840株
役員	代表取締役社長 前田俊一			石川 和範	693株
	専務取締役 山元 弘	監査役 紫尾俊一		マルマエ共栄会	365株
	取締役 海崎功太	監査役 寺畑幸雄		前田 良子	300株
	取締役 藤山敏久	監査役 大道卓		五十嵐 光栄	279株
従業員数	88名 うち 臨時雇用者等18名 (平成25年8月31日現在)			松井証券株式会社	215株
所在地	本社	〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保3816番41		岡三証券株式会社	211株
	関東事業所	〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15		齋藤 格	184株
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・精密機械・精密機器の設計・製造・加工・組立 ・精密機械部品の設計および製作 ・溶接部品の設計製造 ・運送業務 		敬称略 平成25年8月31日現在		
経営理念	<ol style="list-style-type: none"> 1.技術は究極を目指し 2.競争と協調を尊び 3.技術注力企業として社会に貢献する <p>経済を支える“モノづくり”の中で、モノづくりの源流である部品加工にこだわっていきます。 そして、さまざまな分野で総合メーカーを支えられる企業となるために先端技術と供給力を持つ部品加工のリーディングカンパニーを目指します。</p>				

進化する技術で未来を拓く

年月	沿革
昭和40年4月	鉄工所を故前田務(元社長、元相談役)が個人で創業
昭和63年10月	個人経営の鉄工所をマルマエ工業有限会社(現当社)に改組(出資金2,000千円)
平成4年	オートバイ部品製造目的のT'sM'sR&D(現当社事業)を前田俊一(現代表取締役社長)が個人で創業
平成9年9月	T'sM'sR&Dの事業をマルマエ工業有限会社が引継いでR&D事業部を設置
平成9年10月	R&D事業部にて発電所用タービンブレード受注開始、3次元CAD/CAMの導入
平成12年3月	同時5軸加工機導入
平成13年4月	株式会社マルマエに商号および組織変更(資本金10,000千円)
平成15年12月	鹿児島県出水郡高尾野町(現出水市)に本店移転、新本社工場竣工、大型5面加工機導入
平成16年4月	工場増床、高回転型門型加工機導入
平成16年12月	日本証券業協会によるグリーンシート銘柄指定(証券コード6264)
平成18年2月	鹿児島県出水市知識町に新工場(知識工場)取得
平成18年12月	東京証券取引所マザーズ市場に上場
平成19年2月	熊本県菊池郡大津町の熊本事業所が稼働開始
平成19年5月	経済産業省発表の2007年度版「元気なモノ作り中小企業300」に選定
平成20年3月	本社第4工場竣工
平成20年4月	埼玉県朝霞市の関東事業所が稼働開始
平成20年5月	熊本事業所組立工場竣工
平成20年9月	熊本事業所加工工場増設
平成23年4月	熊本事業所の閉鎖
平成23年7月	事業再生ADR手続の成立

※注 個人事業部分については、月次の確定が困難なため月日の記載を省略しております。